

令和 6 年度 学校関係者評価書

学校名	九度山町立九度山中学校
学校評議員名	有馬 貴江、 浦 美幸、 大西 喜三郎、 藤井 あすか、 山下 栄亮 (敬称略、50音順)
学校関係者評価実施日	評価実施日 令和 7 年 2 月 1 4 日

	項 目	内 容
1	教育目標、教育課程、教科指導に対する意見	・昨年度に引き続き、教育目標達成に向けて教科授業の時間を十分確保し取り組んできたことが生徒アンケートの 2 番「学校の授業が良く分かる」の増加が伺え、関連して 3 番の「休憩時間や放課後に質問する回数」の減少に現れていると捉えることができます。ただ、保護者アンケートにおいて一割強の方が「わからない」と解答している設問が多数あるので、保護者への理解を図る取り組みを考えなくてはならないと思います。 ・学校の姿を保護者に知ってもらう努力は、これからも地道に続けていく必要性は感じますが、本年度も P T A 総会が紙面決議になるなど、保護者側からの関心の低さが気になります。生徒はおおむね、学校の努力に対しては評価してくれていると思います。 ・直接保護者に説明する機会が少ないので、学校側としてわかりやすく説明していたのに「あまりそう思わない」と保護者が 2 割以上の回答になっていました。理解してもらうことはなかなか難しいみたいです。来年度は少しでも多くの保護者の方に伝えられるように取組を工夫したり改善したりなどお願いしたいです。 ・「子ども一人ひとりが大切にされ、認められる学校になっている」の回答では否定的な回答が 3 割以上になっていることが気になります。今後も一人ひとりの生徒をより理解し、授業や指導方法の改善などに努めていただけるようお願いしたいです。 ・子ども達の心身ともに健やかな成長のため、引き続きご指導をお願いします。 ・各教科指導の工夫に、これからも取り組んでいただきたいと思います。
2	「基礎・基本の定着と主体的・対話的な学び」に対する意見	・ここ数年来、生徒が主体的に活動する授業の在り方について研究を行い活動されてきていることはとても素晴らしくその成果が現れてきていることがアンケートからもうかがえます。今後も主体的に生徒が授業を進めていっている姿が今以上に見られるような教科指導を作り上げていってほしいと思います。 また、家庭学習の習慣化をはかる取り組みにおいても本年度の取り組みにさらなる工夫改善を行い、今以上の習慣化を図ってってください。

		・デジタル教材、九中タイム、T T指導等、いろいろな工夫をして生徒の学力向上を図って下さっていることを感じます。学力の到達度結果は、様々な要因が考えられるので、あれこれと方針を変えることなく、今のやり方を続けていくことが大事だと思います。今の子供達には、自分の考えをきちんと言語化できる、日本語力の低さが気になります。 ・今年はデジタル教科書2教科以外についても活用されていると聞き、今後も有効に活用していただきたいと思います。 ・「家庭学習の手引き」や「九中タイム」など、その日の授業の振り返りができると保護者の方も安心できると思います。 ・「T T指導」については、今後も個に応じた指導をお願いしたいです。 ・タブレット端末の不具合が多く、リモート授業でも使えないことがあるようです。せっかく授業を工夫してくださっているのにもったいないので、改善され有効的に活用されることを望みます。 ・苦手意識を持つ子が多い「英語」でもT T指導を実現していただきたいです。
3	「豊かな心とたくましい心身の育成」に対する意見	・生徒アンケートにおける設問10、11においてほとんどの生徒がそう思うと解答していることから、今後もよりよい社会の一員として自分はどうあるべきなのか等、自分の在り方を考え合う時間を増やし、多様性の社会に対応すべく今以上に道徳的心情を耕す取り組みを続けていってほしいと思います。 ・社会の一員として育っていく大事な時期である中学校時代です。ネットの発達で、情報はあふれていますが、実際の人間関係の構築は希薄になっているように思います。学校へ行くのが楽しいと生徒が思う学校作りをこれからも期待しております。 ・スクールプラン達成の指標5点を昨年度より高くされていましたが、生徒アンケート結果ではほとんど達成できており、安心しました。今後も学習内容を深めながら、相手の気持ちを思いやり合える育成をお願いしたいです。 ・指標③「いじめの解消率100%」ですが、保護者アンケート回答では「まったくそう思わない」5.6%、「あまりそう思わない」11.1%でしたので、この点については、保護者にきちんと伝えられていないのではないのでしょうか。 ・道徳の授業や体験的な学習を通じて自分と向き合い、他を尊重したり、思いを伝える大切さを学び、豊かな心を育てほしいです。

4	「未来の創り手となる生徒の育成」に対する意見	・それぞれの学年で地域体験活動を実施することで地域の一員としての自覚が生まれ視野を広げたり働くことの大切さを学んだりしたのではないかと思います。今後もキャリア教育指導の今以上の工夫改善に取り組み、生徒一人一人が将来の夢を持ち自主的・主体的に活動していけるようご指導お願いします。 ・職場体験やボランティア活動の体験を通して、実社会を少しでも学べることは素晴らしいと思います。ただ、少ない時間の中で、その時間を捻出していくのは大変でしょうし、また、先生方の雑務が増えていけないのかとも思います。 ・いつ頃から将来の自分のしたい夢や希望を持ち始めるのでしょうか。中学3年間で様々な体験学習を通して、働くことの大切さや自分ができる地域貢献など、責任のある行動ができるようになってほしいです。そして、自分の将来の目標に向かって最後まで諦めず、達成できることを願っています。 ・職場体験やボランティア活動等の体験活動は、生徒の自主性を育て、視野を広げるととても良い経験だと思います。また、学習発表会はその体験を他者に伝えることで学びを深める良い取組だと思うので、続けていただきたいです。
5	その他の教育活動に対する意見	・生徒数や職員数の確保等で仕方ないのかもしれませんが、「部活動に進んで取り組んでいる」項目での回答がそう思はないと考える生徒が3割をこえている。これはクラブ数が限られていることから生まれてきているものと考えられるので、今後の課題としてクラブの在り方について考え取り組んでいってほしいと思います。 ・特別支援教育、安全教育・保健管理等、学校は様々な視点から対策を講じていると思います。また、不登校の生徒に対しても学校としてできる努力をしておられると思います。続けていくことは必要ですが、ただ、この問題は本質的には家庭環境が大きな意味をもつのではないかと思います。 ・今回の学校評価アンケートの中で気になっていた項目が「家族は学校での出来事をよく聞いてくれた」では8割以上の回答があり、（親子関係が）安心し、嬉しく思いました。親子の会話は大事だと思います。 ・保護者様への学校への意見や要望についての回答を読みました。一つ一つとても丁寧に回答され、学校側の考えや思いがきちんと保護者の方々へ伝えられていると思います。今後も学校や教員の皆様が信頼される学校づくりをお願いしたいです。 ・スクールカウンセラーさんの存在に親子で救われたという話を耳にします。話を聞いてもらうだけで不安がやわらいだり、学校との連携も必要に応じ取ってくださり、心強い存在だと思います。これからも寄り添っていただきたいです。